

母性看護学方法論 2 看護過程 試験問題 (令和 7 年度)

試験日: 令和 7 年 12 月 15 日(月) 担当: 郡司

学籍番号: _____

試験得点	平常点+課題点	合計点
26 / 32	14 / 18	40 / 50

-6

問 1、次の文をよみ、問いに答えなさい。

病棟実習では、分娩当日(産褥 0 日目)の褥婦 A さんとその新生児 A ベビーを受け持つことになりました。A さんは 25 歳の初産婦です。A さんの妊娠経過は順調でした。12/1(39 週 0 日)午前 0 時に PROM 主訴にて入院し、午前 5 時に陣痛発来、その後順調に進行し、12/2(39 週 1 日)午前 3 時に 2930 g の女児娩出、午前 3 時 10 分に胎盤娩出、会陰裂傷 II 度でした。

直後出血 400 g、子宮底臍下 2 横指、硬度良好、胎盤付属物の異常所見なし、1 時間値出血 30 g、2 時間値出血 15 g でした。その後も子宮収縮は良好で、分娩後 2 時間半で初回歩行・排尿を行い、午前 6 時に病室に帰室しました。1 時間値の観察の直後と朝食後に、助産師の介助にて側臥位で授乳を行っています。

問 1-1、A さんの分娩時のアセスメントとして適切な文章になるように、①～⑤に当てはまる数字を書きなさい。(1 点×5=5 点)

A さんの分娩所要時間は、(① 22) 時間 (② 10) 分である。初産婦の遷延分娩の定義は、(③ 11~15) 時間以上のため、分娩所要時間としては、平均よりは時間がかかっているが、正常範囲内である。また、A さんの分娩時出血量は、(④ 445) g であり、分娩時異常出血の定義は(⑤ 500)ml(g)以上のため、出血量は正常範囲内である。

問 1-2、午前 10 時ごろ、助産師と一緒に A さんの観察に行くことになりました。学生がバイタルサインを測定したのちに、助産師と共に、子宮復古状態の観察を行います。子宮に触れる際の看護者としての注意点にはどのようなものがありますか。2 つ挙げなさい。(2 点×2=4 点)

・ 羞恥心に配慮し、不随意に衣類を上げない。

・ 手を洗っている。

問 1-3、観察を行うと、子宮底臍上 1 横指、硬度はやや緩く、触診で膀胱充満が疑われました。最終排尿は午前 6 時前で、その後、飲水もしっかり行っています。A さんに確認したところ、「尿意はありません」と返事がありました。分娩後、尿意が一時的に麻痺したり、尿閉になったりすることがあります。それはなぜですか。理由を答えなさい。また、A さんにどのように対応するかも答えなさい。(2 点×2=4 点)

理由:

分娩中、児による末梢神経圧迫による神経障害。
× 分娩時。

対応:

尿意がなくても、定期的にトイレに誘導する。
導尿。

6(1-2)

問 1-4、排尿後、助産師と一緒に授乳練習をすることになりました。出産後、座って授乳するのは初めてです。授乳前や授乳中にどのような点を観察しますか。観察項目を 4 つ挙げなさい。(2 点×4=8 点)

- ・ 赤ちゃん
- ・ 抱きかた
- ・ 乳房の形や大きさ
- ・ 乳管の太さ

8

問 2、次の①～⑤に当てはまる語句を答えなさい。(1 点×5=5 点)

- ・ 看護診断には、問題型看護診断、リスク型看護診断、(①) 型看護診断の 3 種類があり、母性看護領域の看護過程では、今この人はどういう状態にあるのか、あるいはどういう方向に進もうとしているのかに焦点をあて、より良い変革の方向へ目を向ける考え方である①の考え方がマッチすることが多い。
- ・ 産褥期のアセスメントでは、産婦の全体像を捉えるために、『(②) 産褥期 』性変化』、『(③) 産褥期 』性変化』、『母親の (④) 』・適応過程』、『(⑤) 』の適応過程』『生活・社会環境』の 5 つの視点からアセスメントする。

2 (-3)

問 3、『生殖器の復古は産褥日数に応じて順調か?』をアセスメントするために必要な情報や観察項目を具体的に 3 つ挙げなさい。

(2 点×3=6 点)

- ・ 子宮底の高さ (産褥後、1 度収縮して弛緩 (大きく) しているか。何日目か何横指か)
- ・ 子宮底の硬度 (産褥後すぐにやわらかくなっていないか。テニスボールくらいのか、ゴキウ)
- ・ 産血量 (量はハコで測っているか)

6